

I-①路線の集約・再編 ②公共交通軸における運行頻度の確保

III-②沼津駅バスターミナル発ダイヤ調整

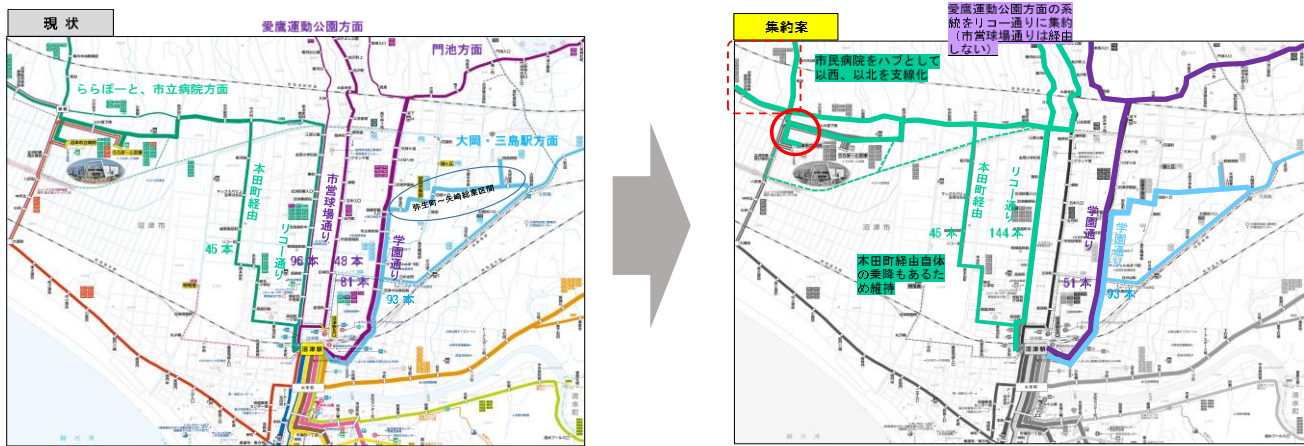
本市では、持続可能な都市構造としてコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを掲げ、いつでも、どこでも、誰でも安心して利用できる使いやすい公共交通の構築を目指し取り組みを進めているところである。

しかし、新型コロナウイルスの影響や深刻な乗務員不足により、バス路線の退出や減便が相次いでおり、中心市街地であっても利便性の高い信頼できる運行水準が確保できていない状況となっている。

このため、各バス路線の運行状況やポテンシャルを把握したうえで、バス事業者が提供できる供給力を確認し、市内の路線バスの目標運行水準を明確にする。併せて、路線の集約・再編やダイヤ調整に取り組むことで、効率的で利便性の高いバス路線を構築する。

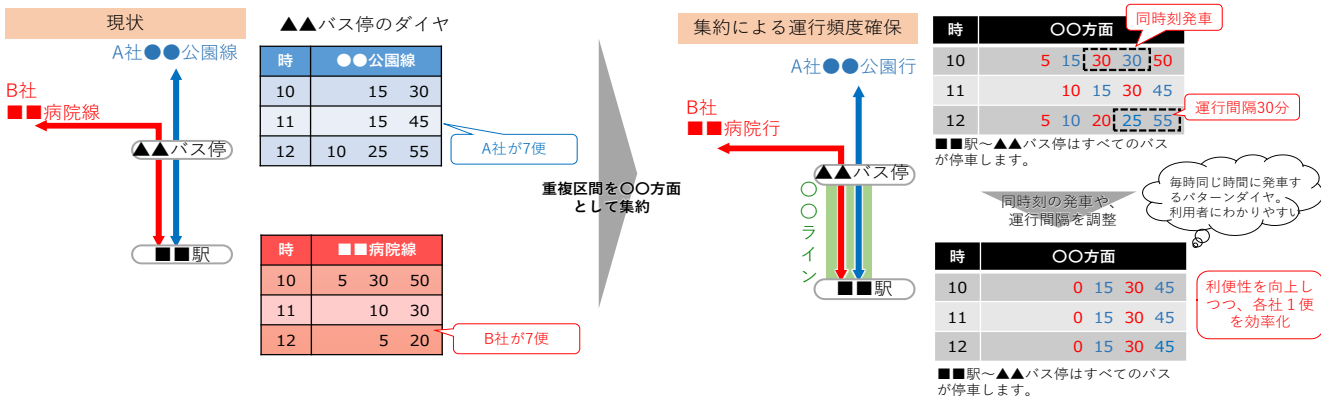
1. 路線の集約・再編の事業概要

沼津駅と北部方面を結ぶ路線については、複数の路線が散在していることから、各路線の運行頻度が十分に確保できていない。このため、利用実態に基づき路線の集約を行い、運行の効率化を図ることにより、運行頻度の高い公共交通軸を形成し、サービス水準の向上を図る。



2. 公共交通軸における運行頻度の確保と沼津駅バスターミナル発ダイヤ調整の事業概要

利便性の高い持続可能な運送サービスの提供を確保するため、中心市街地における運行水準の確保やJR沼津駅南口発着バスのダイヤの等間隔化など利用しやすいダイヤに調整し、サービス水準の向上を図る。



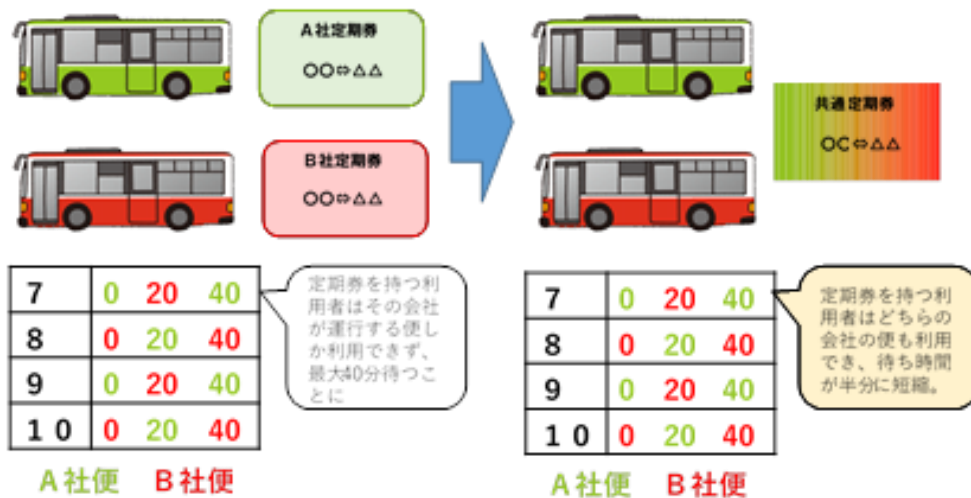
III - ⑧利用しやすい運賃体系への見直し

IV - ②企画乗車券・フリーパス・高齢者パスの販売

1. 利用しやすい運賃体系への見直しの事業概要

複数の事業者が同じ経路を運行している、または経由する停留所が同じ場合であっても、定期券については事業者毎に発行されており、同じ路線を運行する他事業者のバスを利用できないなど、利用者に対する利便性に課題がある路線、区間があります。

利用者の停留所での待ち時間の削減や、特定の便への集中、停留所周辺の混雑の解消などを旨とし、複数の事業者で利用可能な共通定期券化を検討します。



2. 企画乗車券・フリーパス・高齢者パスの販売

路線バスの乗車券と人気スポットや飲食店などのサービスを組み合わせた企画乗車券、周遊に便利なフリーパス、高齢者向けのお得なバスなどのメニューを豊富に取り揃え、公共交通の利用促進を図ります。

沼津市中心部と郊外部を結ぶ路線において距離が長大であり、基準運賃が市内でも高い状況です。日常的に利用する住民の負担を改善するため、地域住民を対象とした往復割引などの企画乗車券を検討します。

3. 第3次沼津市利便増進実施計画の策定スケジュールについて

令和5年度									令和6年度		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		● 発注	● 委託契約	→ 協議資料等の作成				→ 計画案とりまとめ			
					● 協議会		● 協議会			● 計画認定申請	

III-⑩バスターミナルの環境改善（原駅トイレ設置）

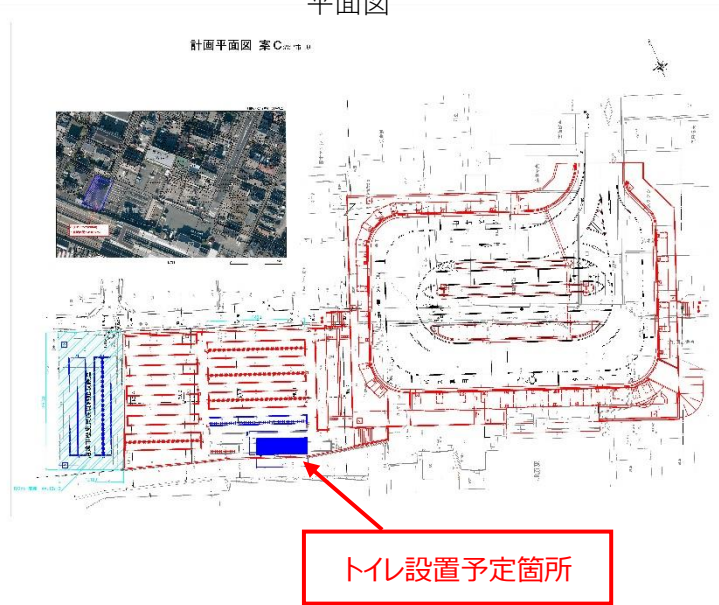
1. 原駅前広場トイレ設置事業の概要

令和4年度に原駅前広場が完成し供用が開始されました。公衆トイレを設置する用地がなかったことから設置を見送っておりましたが、駐輪場西側にある歴史民俗資料館収蔵庫が移転することになったため、駅前広場側の駐輪場内（青色）にトイレを設置し、収蔵庫跡地（水色）に駐輪場を拡幅することにいたしました。

設備の内容は、男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ、休憩スペース、倉庫が整備されます。

平面図

完成予定図



2. スケジュールについて

原駅前広場トイレ設置工事のほか、関連工事のスケジュールは以下のとおりです。

年度	令和5年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
収蔵室解体撤去			←→									
駐輪場拡幅整備					←→						←→	
トイレ設置							←→					

IV-③バスイベントの開催

1. モビリティ・マネジメントについて

過度な自動車社会から公共交通や自転車等を賢く利用する方向へ自発的に転換を促す取組として、本市では、市の出前講座等を活用し、モビリティ・マネジメント教育を実施している。

今年度は、MMパンフレットや沼津市公共交通おでかけマップの活用をし、市の出前講座やバスイベントにて利用促進・啓発活動を行う。講座やイベント後にアンケート調査を実施し、MMの効果検証も予定。

2. 子ども向けの講座

- ・紙芝居を用いて、バスの乗り方、時刻表の見方、バスを利用するメリットについて説明。
- ・バスを用いた実車利用講座は、バス事業者協力のもと実施（乗り方説明、実車体験、整備工場見学等。）
- ・小学生の保護者向けにQRコードを利用したアンケートを配布し、公共交通やクルマ利用に対する意識の変化があったか等の調査を実施する。



「令和4年度小学生講座」



↑モビリティ・マネジメントパンフレット

3. 大人向けバスイベント

- ・7月1日（土）：J3アスクラロ沼津ホームゲームのイベント時に啓発活動を実施。
（富士急シティバス協力のもと実施。）
- ・イベントでは、バスの乗車体験を行った後、バスの乗り方、バスを利用するメリットについて説明。
- ・イベント終了後は、イベント参加者にQRコードを利用したアンケート協力を依頼する予定。



「イベントブースイメージ」



出典：富士急シティバス HP より

V—⑤路線バス利用者の確保

1. 第14回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会in沼津の概要

地元で水揚げされた水産物を使用し創作された自慢の料理である Sea 級グルメ。全国の「みなとオアシス」から自慢のグルメが集合し、来場者の投票によって、その年の Sea 級グルメ No.1 を決定するイベント。

大会は令和5年10月28日(土)、29日(日)に開催され、市内外はもとより県外からの来訪も見込まれ、大会史上最大となる2日間で延べ7万人以上の来場を見込んでいる。

これまでの沼津港への集客に加え、さらに多くの来訪が見込まれることから、来訪者を安全かつ円滑に輸送することが求められており、公共交通での来場を広く呼び掛け利用促進を図るとともに、交通規制や交通誘導などにより市街地の渋滞緩和に取り組む。



2. 交通計画の概要

沼津港の立地条件や交通特性、さらに、これまで多くの地元関係者との協議・調整を踏まえ、本大会への来訪者や大会関係者を安全かつ円滑に誘導・輸送するため、下記を基本的な考え方とする。

1. 公共交通を利用した来場

沼津港まで鉄道やバスなどの公共交通の利用を呼びかけるほか、沼津駅周辺の民間駐車場の利用を案内し、既存の沼津駅—沼津港間の路線バス利用を促進する。

2. 自家用車を利用した来場

沼津港周辺への自家用車の乗り入れを極力減らすため、市街地の外側に無料臨時駐車場を設置し、沼津港へはシャトルバス等により送迎する。

A. 東名 IC、富士方面からの来訪

臨時駐車場として明電舎社員駐車場（収容台数：約1,000台）へ誘導する。

B. 伊豆方面からの来訪

臨時駐車場として静浦漁港（収容台数：約300台）へ誘導する。

3. 自転車・オートバイを利用した来場

沼津港周辺に各々の専用駐車場を設置し誘導する。

